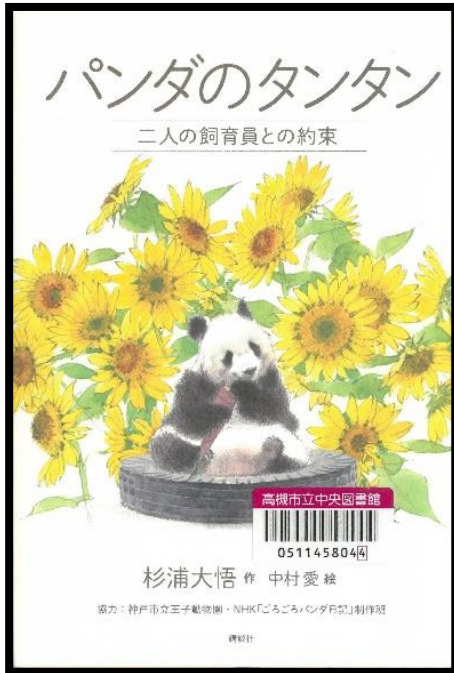


## パンダのタンタン 二人の飼育員との約束



すぎうら だいご  
杉浦 大悟／作

なかむら あい  
中村 愛／絵

講談社〔489〕

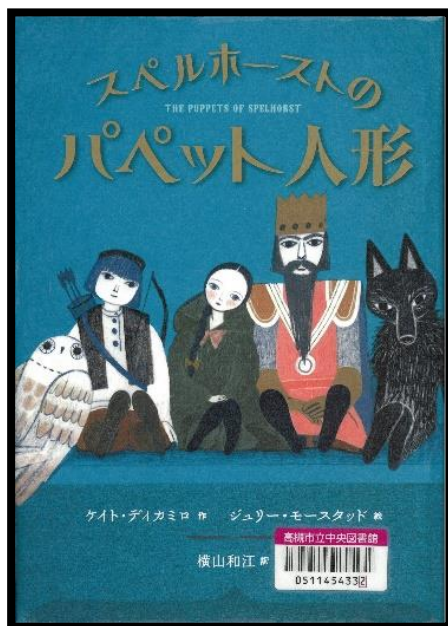
特集：2024年に出版された本

タンタンは震災で被災した神戸の人たちを励ますため、2000年に中国から王子動物園にやってきました。

短い手足にモフモフした毛並みがぬいぐるみのようにかわいらしく、“神戸のお嬢さま”と呼ばれ、多くの人に愛されてきました。しかし、2021年に心臓疾患が見つかり、タンタンは長い治療生活を送ることになります。

残念ながら、2024年3月に老衰で亡くなってしまいましたが、最後までタンタンに寄り添った二人の飼育員とタンタンの絆の物語です。

## スペルホーストのパペット人形



ケイト・ディカミロ／作

ジュリー・モースタッド／絵

よこやま かずえ  
横山 和江／訳

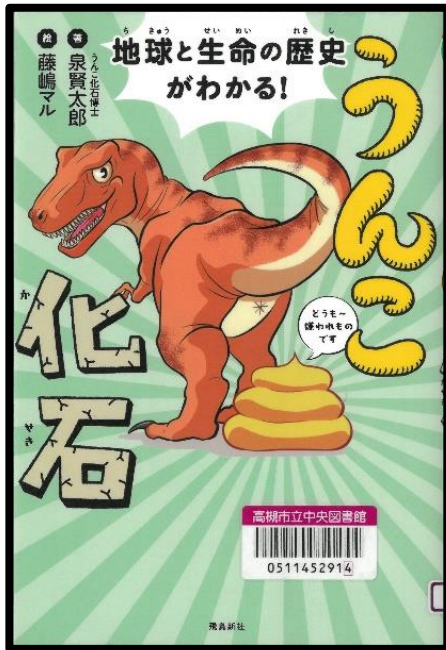
偕成社〔933デイ〕

月の輝く夜、深い後悔をかかえた元船長の老人がひとりぼっちで死んだ。残されたのは、古ぼけたトランクに入った1通の手紙と5体のパペット人形。王さま、オオカミ、弓矢の少年、フクロウ、すみれ色の目の少女。人形たちは暗やみの中でそれぞれ夢を抱きながら、物語が始まるのを待っている。

やがてトランクは姉妹の手にわたり、手紙を読んだ姉のエマが人形劇の台本を書き始める。ところが劇のお披露目パーティーをひかえ、人形たちは一人また一人といなくなってしまう。

## うんこ化石

地球と生命の歴史がわかる!



いずみ けんたろう  
泉 賢太郎 / 著

ふじしま  
藤嶋 マル / 絵

飛鳥新社[457]

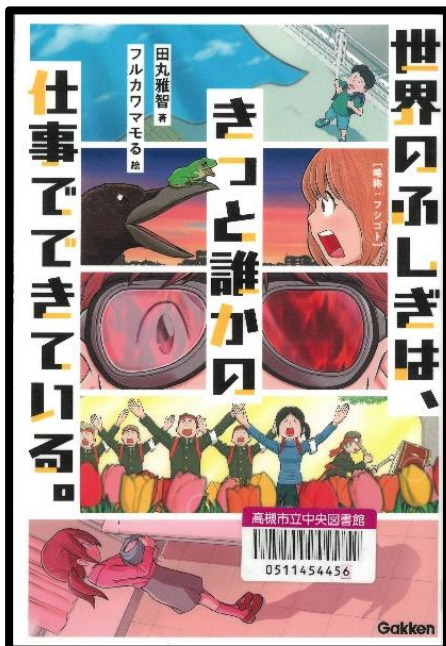
うんこ化石は古生物の活動のあとが残されたもの、生痕化石の一種です。この本の先生によると、うんこが鉱物になって化石になるのは1千万個に1個より少ないそうです。

カナダで見つかった幅約20cm、長さ約60cmのうんこ化石は、ティラノサウルスのものだと考えられています。なぜ、そう考えられることになったのでしょうか。

うんこ化石とは何なのか、どうやってできるのか、化石から何がわかるのか、古生物学者の先生が、たくさんのかことを教えてくれる本です。

## 世界のふしぎは、きっと誰かの仕事でできている

[略称:フシゴト]



たまき たまとも  
田丸 雅智 / 作

フルカワ マモる / 絵

Gakken[913タマ]

いつもなにげなく目にしている光景が、実は誰かの仕事によって起きていることだとしたら。

白い状態の空を、染料を使って青く染め、空模様をデザインする「空染め職人」、応援することで花が開花するのをサポートする「開花応援団」など、ふしぎな仕事に携わる大人と、その仕事を体験する子どもたちの8編のおはなしです。

どんなことも、誰かが誇りをもって行っている仕事のおかげでできていると思うと、面倒くさい、退屈そうといった働くことへのイメージが変わるかもしれません。